

11月18日(木)開催（常盤校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>刻々と現状が動くなかで、未来にむけてこういう案を考えて頂いていることはありがたいと思います。 今日の意見にもありましたように「バラ色の計画」だけでなく、これを実施するにあたりデメリットがどれだけあるのかをリサーチして頂いて、そのデメリットを超える（案）であれば賛同する方が増えるのではないかと思います。 デメリットとは反対意見ととらえ、納得のいく説明をお願いします。</p>	<p>適正規模・適正配置に伴う再編の課題として、通学距離が長くなること、地域コミュニティに大きな影響を及ぼすことを挙げ、前者については、必要に応じてスクールバスを導入すること、後者については、教育を優先にした取組を進めるとしたうえで、地域への影響については、市とともに、地域の皆様と協議し、地域に協力していく旨をご説明しました。また、小中一貫教育についても、市民の皆様から、その効果そのものを疑問視するご意見や、異学年が同じ敷地や校舎を共有することによる問題点のご指摘などをいただき、前者について、先進市町村では多くの効果があると評価していること、後者については、時間や場所を分けるほか、他のスペースの活用の可能性についても検討する旨をお答えしたところです。 これ以外にも、今後、地域・保護者の皆様との話し合いの中で、再編や小中一貫教育に関する様々な課題のご指摘があるものと思われるので、それらについても、しっかりと対応策を講じてまいります。</p>
2	<p>丁寧にご説明いただき、ありがとうございました。 いじめ、不登校、学テの結果などに関しては小中一貫にしたからといって解決するのでしょうか？ 家庭環境が大きな原因ではないですか？</p>	<p>学力課題や、いじめ・不登校等の問題の背景にはさまざまなことがあると考えられることから、小中一貫教育が全ての解決策とは考えておりません。また、御家庭に協力いただく必要があるとも考えております。ただ、小中一貫教育によって、これらの問題の解決につながる教育的効果があると報告されていることから、本市においても小中一貫教育を推進してまいります。</p>
3	<p>説明ありがとうございました。 質問を受けていただけましたが、明確な返答がなく、残念でした。 今回の計画については賛同することができません。 よりくわしい説明や、様々な検討をよろしくお願い致します。</p>	<p>現在は、実施計画（案）の段階であり、今後も地域、保護者の皆様と十分な話し合いを行い、より良い計画の策定に努めていきます。 ご意見・ご質問については、メール等でも随時受付していますので、どうぞご利用ください。</p>
4	<p>人口推計について、根拠は？ 社人研？示してほしい。</p>	<p>人口推計については、住民基本台帳による人口を基に、コーホート要因法により市が推計したものです。具体的には、住民基本台帳による人口を基に、住民基本台帳が電子化された昭和59年10月から現在までの出生数・死亡数・転入数・転出数・転居数の各々の平均値を、小学校区ごとに、年齢別、性別で算出し、その値を現在の人口に加算して、将来推計値を算出しています。 児童生徒数推計については、住民基本台帳による各校区の0歳～15歳までの人口を抽出し、その数が人口移動なく、各校区で毎年1歳ずつ年齢を重ねていくものとして算出しています。</p>
5	<p>小中一貫についての成功例は？抽象すぎる！！</p>	<p>小中一貫教育を実施している市町村の調査では、学習意欲が向上したが80%、中学校への進学に不安を覚える児童が減少したが96%、いじめが原因である問題が減少したが73%、不登校が減少したが60%など、小中一貫教育に成果があると回答しています。</p>
6	<p>「新たな教科」抽象すぎる！！</p>	<p>例として、岸和田市の豊かな自然や文化などを活かして、小中の9年間を通じて、総合的な学習の時間を活用して、「新たな教科」を導入するとご説明しましたが、詳細な内容については、今後、小中一貫教育推進会議において協議を重ねてまいります。</p>
7	<p>「小中一貫教育推進会議」のメンバーは？</p>	<p>小中学校の校長会代表、教頭会代表、教員代表と、教育委員会事務局、また、必要に応じて学識経験者に参加いただいて開催しています。</p>